

このたびの東日本大震災により、 被災された地域の皆さまには 心よりお見舞い申し上げます

ご挨拶

会長 大嶋 裕

はじめに、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々にお見舞いを申し上げます。

被災された皆様は地震と津波そして原発と三重苦に大きな恐怖を抱いたまま避難所生活に移られ、先の見えない苦難の日々を送られています。その姿を映像で拝見する度に身震いし言葉もありません。

一日も早い復旧・復興を願って、私達一人一人が可能な限り出来る事を行いご支援出来ればと思つて居ります。

さて、横浜商科大学同窓会会員ならびに、ご家族の皆様にはますますご健勝のことと存じます。

昨年の第35回同窓会総会において会長に再任されました。これからの2年間につきましても従前同様よろしくお願ひ申し上げます。

第35回総会には会場に溢れるほど多

第38号

発行
横浜商科大学
同窓会
TEL 045-583-9031
<http://www.shodai-ob.com/index.html>
印刷
(株)サン・プリンティング
TEL 03-3750-6633



数ご出席いただきありがとうございます。また、以降の総会も、このように盛況に開催できますようご協力お願いします。

その後の懇親会でも、ご紹介させていただきましたが、今年も同窓会支部として、マーケティング研究会支部・韓国支部が設立されました。

韓国支部については一昨年より同窓会海外支部設立の機運があり、発起人である車炳韓氏（平成2年3月貿易観光学科卒・韓国出身）及び黄内坤（Byung Kon Hwang）先生（本学の国際交流の韓国事務所責任者）には多大なご尽力をいただき設立に至りました。（詳細は支部紹介で）

このように新たに2つの支部が産声をあげました。

会員の皆様には国内外の支部活動にご協力をいただき大きく成長させていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

末筆ながら会員皆様のますますのご活躍を祈念申し上げます。

第35回 横浜商科大学同窓会 総会 懇親会



第35回 横浜商科大学同窓会総会

(平成22年11月27日(土) 於：新横浜国際ホテル)

収支計算書

自 平成21年10月1日
至 平成22年9月30日

収入の部 単位：円

科 目	決算額
I 会費収入	14,570,000
II 事業収入	505,000
III 資産運用収入	219,468
IV 雑収入	0
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	15,294,468
前期繰越収支差額	85,616,715
収入合計(B)	100,911,183

支出の部 単位：円

科 目	決算額
I 事業費	5,149,526
II 準会員支援金	6,112,135
III 組織強化費	6,170,923
IV 管理費	4,471,150
当期支出合計(C)	21,903,734
当期収支差額(A)-(C)	-6,609,266
次期繰越収支差額(B)-(C)	79,007,449

平成22年度収支予算書

自 平成22年10月1日
至 平成23年9月30日

収入の部 単位：円

科 目	予算額
I 会費収入	14,800,000
II 事業収入	500,000
III 資産運用収入	200,000
IV 雑収入	0
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	15,500,000
前期繰越収支差額	79,007,449
収入合計(B)	94,507,449

支出の部 単位：円

科 目	予算額
I 事業費	5,000,000
II 準会員支援金	6,000,000
III 組織強化費	4,900,000
IV 管理費	5,550,000
当期支出合計(C)	21,450,000
当期収支差額(A)-(C)	-5,950,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	73,057,449



懇親会での若い2人の司会は、とてもさわやかで素晴しかった



正味財産増減計算書

自 平成21年10月1日
至 平成22年9月30日

単位：円

科 目	金 額
I 増加の部	
1. 50周年記念事業積立金	500,000
増加額合計	500,000
II 減少の部	
1. 当期収支差額	6,609,266
減少額合計	6,609,266
当期正味財産増減	-6,109,266
前期繰越正味財産	94,616,715
期末正味財産合計	88,507,449

(平成22年9月30日現在累計額)

(単位：円)

注：1. 50周年事業積立金	7,000,000
2. 名簿発行準備金	1,000,000
3. 公報発行積立金	1,500,000
	<u>9,500,000</u>

貸借対照表

平成22年9月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 現 金	277,372	1. 正味財産	88,507,449
2. 普通預金	14,368,479		
3. 定期預金	73,861,598		
合 計	88,507,449	合 計	88,507,449

平成21年度 事業報告

(自：平成21年10月1日 至：平成22年9月30日)

【事業実績】

平成21年10月21日 大学との定期懇談会開催
 10月31日 大学祭（飯山祭）へ支援
 11月21日 第34回同窓会総会開催
 平成22年3月25日 機関紙第36号発行
 3月26日 平成21年度卒業式・記念品贈呈・卒業記念パーティー支援
 4月1日 平成22年度入学式・記念品贈呈・同窓会奨学金贈呈（3名）
 4月28日 大学との定期懇談会開催
 6月19日 留学生懇親会支援
 8月7日 第5回支部長会議開催
 9月26日 平成22年度秋季卒業式・記念品贈呈

【支部総会】

平成21年10月22日 不動産支部総会開催
 10月25日 長野支部設立総会開催
 11月7日 福島支部総会開催
 12月5日 関西支部総会開催
 平成22年2月13日 剣道部支部総会開催
 4月10日 広島支部総会開催
 4月17日 ハンドボール部支部総会開催
 4月17日 観光産業支部総会開催
 5月8日 飯山会支部総会開催
 5月14日 教員支部総会開催
 5月15日 四国支部総会開催
 6月19日 静岡支部総会開催
 7月10日 群馬支部総会開催
 7月10日 経営実践支部総会開催
 9月11日 新潟支部総会開催
 9月11日 経営情報システム支部総会開催
 9月18日 会計人会支部総会開催
 9月25日 宮城支部総会開催

【役員会】

平成21年10月24日 第82回役員会開催
 平成22年1月30日 第83回役員会開催
 2月20日 第84回役員会開催
 3月20日 第85回役員会開催
 4月24日 第86回役員会開催
 5月22日 第87回役員会開催
 6月19日 第88回役員会開催
 7月24日 第89回役員会開催
 9月25日 第90回役員会開催



留学生

平成22年度 事業計画

(自：平成22年10月1日 至：平成23年9月30日)

1. 定期総会の開催
2. 機関紙の発行（年2回）
3. 支部設立の推進（特に都道府県単位支部）
*マーケティング研究会支部（仮称）
平成22年11月13日設立総会開催
4. 本部・支部及び各支部間の連絡強化

支部及び支部長一覧

都道府県支部	支部長	風呂 実男（第10期）
広島支部	和田 彰（第2期）	
関西支部	片野 博（第5期）	
福島支部	山崎 成（第4期）	
静岡支部	吉井 直樹（第18期）	
新潟支部	鈴木 清照（第8期）	
群馬支部	小松 智（第8期）	
宮城支部	宇都宮吉彦（第11期）	
四国支部	春日 健三（第3期）	
長野支部	柴崎 雅治（第19期）	
運動・研究会	滝上 徹（第5期）	
剣道部支部	佐藤 哲郎（第28期）	
関連支部	滝口 猛（第10期）	
ハンドボール部支部	榎田 悠一（第1期）	
経営実践支部	杉原 一光（第2期）	
経営情報システム支部	和内 広行（第18期）	
飯山会支部	高崎 洋一（第28期）	
職域支部	寺島 信悟（第2期）	
観光産業支部		
教員支部		
会計人会支部		
不動産支部		

5. 名簿管理の充実
6. 収支改善の検討
7. 本部総会、各支部総会への出席率の向上



同窓会奨学生

大嶋会長

<同窓会募金にご協力いただいた方々>

斉藤 健市	鈴木 雅志	吉井 直樹	角 美恵子	目黒 正栄	高岡周一郎
大嶋 裕	小森 誠史	鈴木 重行	笠原 幼子	西海 雅弘	関本 邦明
望月こず枝	小松 智	杉原 一光	鄭 義	彭 浩	渡辺
稲垣 正直	比企 恒治	植木 茂雄	藤田美代子	中山 紀子	小田 明美
舟越 利蔵	伊東 幸博	田村 昭雄	細野 敏博	寺島 信悟	村崎 一貴
守屋 芳彦	宇都宮吉彦	渡辺真理子	長濱 郁子	金子 剛士	山崎 成
滝上 徹	佐藤 好男	安田 和治	荒川 利一	藤井 照代	佐藤 直
山崎 好美					敬称略・順不同

募金額（48,877円＋10ドル） ご協力ありがとうございました。

マーケティング研究会支部設立総会

支部長 小林 正明

当会は、宮原義友名誉教授を顧問に迎え、「宮原ゼミの宮友会」を母体とし、マーケティングに関する実務経験の共有と新たなマーケティング知識の紹介を推進し、かつ母校の発展に貢献することを目的に横浜商科大学同窓会の運動・研究会関連支部として設立いたしました。

平成22年11月13日に「マーケティング研究会支部設立総会」を鶴見キャンパスにて開催。当日は、当会会員22名の他、大嶋会長や斉藤幹事長にもご出席をいただき総勢27名。また懇親会には、松本理事長、久保学長のご臨席を賜るなど盛大に開催することができました。

将来の目標としては、宮原ゼミの宮友会



会員のみなならず、母校のOBや現役学生との交流と地域商店街の活性化に貢献できる会になることを目指し、幅広く活動して参りたいと考えております。

韓国支部設立総会

平成22年12月18日、韓国の首都ソウルに於きまして、同窓会支部としては初の海外支部を設立いたしました。

日本からは、同窓会会長、松本英二理事長、大学事務職員で同窓会幹事の山崎氏の3名で参加いたしました。

松本理事長は数年前から韓国の大学や高校との協定を推進しており、その際にお世話になった方で、現在横浜商科大学の国際交流を担当している黄丙坤氏より韓国支部設立を勧められ、平成2年に卒業した車炳輝氏をご紹介頂き、昨年の8月にお会いできたのが発足のきっかけでした。

車氏は発足に際し、40名程の現住所の判らない韓国の卒業生を探すことから始められ、名簿や規約の作成、設立準備と大変忙しい日々を過ごされたことと思います。

設立総会に集まった卒業生は8名で、その半数以上が30歳代であり、これから支部を



盛り立てて行こうという強い意気込みが感じられました。また、総会会場には大学が協定を結んでいる4校の大学と

高校から大変立派なお花を頂戴するなど、とても華やかな雰囲気の中、設立総会が行われ、満場一致で車炳輝氏が支部長に選任されました。大嶋会長から支部運営に当たり、「小さく産んで大きく育てて欲しい（最初は小さな活動でも、支部の皆さんの協力により少しずつ大きくしてほしい）」と役員相互の協力をお願いしました。

その後の懇親会では総会に参加できなかった卒業生も合流し、和やかな雰囲気の中、大学の話に花が咲き、楽しい一時を過ごしました。名刺交換をした支部の役員



の中には旅行会社の理事もおられるので、韓国旅行の際には是非お声を掛けて下さいと仰っていましたので、お声掛けいただければ普段とは違った韓国旅行が楽しめることと思います。

今回の韓国訪問は1泊2日の忙しい日程ではありましたが、大変有意義で同窓会にとつて実り多きものであったと思います。

最後となりましたが、車炳輝支部長始め、多くの方々にお世話になりましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。有り難うございました。

支部会だより

新潟支部総会

平成22年9月11日

11名



会計人会支部総会

平成22年9月18日

16名



宮城支部総会

平成22年9月25日

7名



不動産支部総会

平成22年10月14日

32名



福島支部総会

平成22年10月16日

7名



飯山会支部活動

平成22年10月31日

飯山祭にてフリーマーケット参加、売上一部を神奈川県新聞厚生文化事業団へ寄附



長野支部総会

平成22年10月31日

12名



関西支部総会

平成22年12月4日

7名



沖縄親睦記念旅行

和田 彰

2年前、関西支部創設15周年を迎えたときに、この「沖縄親睦記念旅行」の計画が浮上した。そして9月20日～22日（2泊3日）の行程で、執行部4名参加による沖縄旅行が決行された。

関西国際空港から一路那覇空港へ、前日までの台風はいつの間にか何処かに消え去っていた。初日、国道58号線を北上、名護方面を目指す。途中アメリカ軍／嘉手納基地を通過、今日の宿泊地伊江島（人口5千人）迄は沖縄フェリーに乘船、今夜の夕食は伊予島料理を堪能した。

2日目は夜も明けぬうちに出発、世界遺産にも指定されている「今帰仁城跡」を見学、嵐山パイン園を見学一路名護へ。ガンナ島・屋我地島・古宇利島等が大パノラマ、エメラルドブルーの海に点在し絶景であった。そして旅行のメインイベントでもある「慶次次マングローブカヌー体験」では2人乗りカヌーで約3時間程楽しんだ。お陰でみんな

筋肉痛となりました。そして夜は「ホテルルートイン名護」で待望の沖縄料理を満喫した。3日目いよいよ最終日、メンバーの弟さんが副院長をしている病院で、沖縄県北部と離島で活躍している「ドクターヘリ」を見学した。そして今回の目的でもある商大の大学間交流校の「名桜大学」へ立ち寄った。緑に囲まれた学舎は、南国の暖かい気候と充実した施設に恵まれとても印象的だった。その後那覇空港まで直行、予定より1時間遅れで関西国際空港に到着、無事全予定を終了した。関西支部執行部、今回の旅行を通じて一人ひとりの結束が今まで以上に深まったように思える。

大学だより

平成22年度卒業式ならびに平成23年度入学式は諸事情により中止となりました。



「同窓生子女推薦入試」(仮称)

制度が新設されました。

ただ今、名称募集中！

商大では平成23年度から新たに「同窓生子女推薦入試」(仮称)制度を発足させ、平成24年4月に入学を希望する学生を募集いたします。この入試制度は、商大を卒業された方々のお子さんやお孫さんを対象とする特別の推薦入試制度です。志願者は、現役の高校3年生であること、父・母・祖父・祖母のいずれか一人の方が商大の卒業生であること、そして商大を専願することの全ての条件を満たす必要があります。募集人数は、

商、貿易・観光、経営情報の3学科で若干名です。出願書類は、同窓会会長への届出書(所定用紙)と在籍高等学校発行の調査書の他に、公募推薦入試と同様に本人の自筆による自己推薦書が必要になります。試験は下記の通り3日程あり、いずれも書類審査と面接で合否が判定されます。

詳しくは、商大事務局の入試事務室までお問い合わせください。今後永くこの制度をご活用頂き、皆様の2世、3世の方々が商大で有意義な大学生生活を送られることを願っております。

なお、このたび「同窓生子女推薦入試」制度の新設にあたり、この入試制度の名称を卒業生の皆様から広く募集いたします。8月末日まで受け付けますので、これはという親しみやすい名称がありましたら、商大事務局か同窓会事務局までお知らせください。多数のご応募をお待ちしております。

小林雅人(入試管理委員長)
大学事務局

Tel 045(571)3901
同窓会事務局

Tel 045(583)9031

同窓生子女推薦入学試験の日程：

日程	出願期間	試験日	合格発表	手続締切
A日程	平成23年9月8日(木)～9月20日(火)	9月24日(土)	9月30日(金)	10月14日(金)
B日程	平成23年10月27日(木)～11月9日(水)	11月13日(日)	11月18日(金)	12月2日(金)
C日程	平成23年11月17日(木)～11月30日(水)	12月4日(日)	12月9日(金)	12月22日(木)

異色の商大生!! 井川 寛之君(4年次)

クレ射撃ワールドカップチリ大会出場
WCチリ大会 113点66位

育友会・同窓会より支援金を贈呈



〈平成22年度 学長賞表彰〉

・**学術賞** (4年間の通算成績優秀者)
商 学 科：鈴木 昭平君
貿易観光学科：長谷川 智子さん
経営情報学科：寺嶋 尚子さん

・**スポーツ賞** (全国大会出場など)
剣 道 部：山岸 浩大君

・**特別賞** (在学中に税理士試験「簿記論」合格)：吉澤 政明君
去る3月26日授与されました。



平成23年度（2011）学年暦

学 年 行 事		
前 期	4月1日～8日	新年度オリエンテーション
	4月2日	入学式
	4月11日	前期授業開始
	4月13日～20日	履修申請期間
	4月18日	開学記念日
	4月29日～5月5日	研修週間（休講期間）
	7月18日	講義日（海の日）
	7月25日	講義終了
	7月26日～8月4日	試験期間
	8月5日～9月25日	夏期休暇
後 期	9月24日	卒業式
	9月26日	後期講義開始
	10月10日	講義日（体育の日）
	11月1日～8日	大学祭期間（休講期間）
	11月5日～6日	飯山祭
	12月23日	講義日（天皇誕生日）
	12月26日～1月9日	年末年始休暇
	1月14日～15日	大学入試センター試験（休講）
	2月2日～3日	試験実施日
	2月4日	講義日（講義終了）
	2月6日～15日	試験期間
	2月11日	試験日（建国記念日）
	3月24日	卒業式

商大は今年、平成23年に創立45周年を迎えます。また、21年11月に第1回ホームカミングデーを開催しましたが、隔年開催の予定ですが、今年は第2回ホームカミングデーを開催する年に当たります。そこで、創立45周年記念式典と第2回ホームカミングデーを一緒に、本年11月5日（土）の飯山祭の初日に商大つるみキャンパス体育館で開催することが決まりましたので、この紙面をお借りして卒業生の皆様にお知らせいたします。詳細につきましては、同窓会副会長の方々にも

加わって頂き、ちょうど創立45周年記念事業委員会を立ち上げたばかりですので、これから早急に詰めて行き、内容が明確になり次第、商大ホームページでお知らせいたします。卒業生の皆様におかれましては、今年の11月5日（土）には商大つるみキャンパスにお越し頂きますよう、万障お繰り合わせの上ご準備の程をお願い申し上げます。教職員一同、皆様にお目にかかれることを楽しみに、お待ちしております。

小林雅人（商学部長・創立45周年記念事業委員長）

創立45周年記念式典 ならびに第2回ホームカミングデー

神 奈 川 新 聞

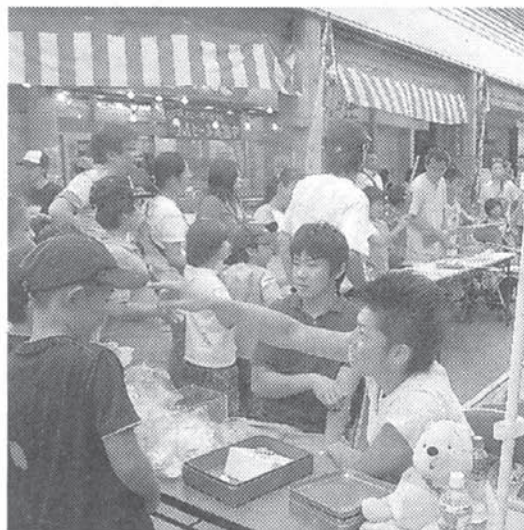
2010年8月29日（日）

商大生張り切る納涼夜店

横浜市神奈川区にある大口通商店街の夏の恒例行事「納涼夜店」が28日から始まった。同商店街と様々な連携事業をしている地元の横浜商科大学の学生らが、出店の運営や警備などでイベントを盛り上げている。同大は商店街と2006年から協力し、商店街の活性化に向けて月1回程度集まって会議をしたり、商店街の公式ホームページづくりを担当したりしている。

納涼夜店は、30年以上前から続く商店街最大のイベント。屋台や金魚すくい、ヨーヨーつりなどの出店がずらりと並び、今年は2万人の来場が見込まれるという。今回の納涼夜店には、同大の佐々徹教授（経営学）のゼミ生ら約15人が射的＝写真＝と物産の出店を企画、運営する。目玉の物産は鹿児島県伊佐市から特産の黒豚や芋焼酎を取り寄せ、販売。伊佐市の前身は旧大口市で、同じ大口の名前から同商店街と交流があったことに目をつけたとい

大口通商店街と連携、出店や警備で活躍



う。ほかに、同大の体育会系クラブの学生たちも会場警備や清掃でイベントをサポートしている。

同商店街共同組合の荒川実理事長は「若い人のイベントづくりのノウハウに刺激を受けている。商大生は今では欠かせない存在」と話した。納涼夜店は29日も午後5時～午後9時開催。

大学事務局からのお知らせ

● 人事異動 ●

一、新任（平成23年4月1日付）

（教育職員）

客員教授 権上 康男（地域経済論（ヨーロッパ）ⅠⅡ、西洋経済史ⅠⅡ）

（北京第二外国語学院・交換教授）

（ピッツバーク大学ブラッドフォード校・交換教授）前期

ドナルド・ユース（英会話、英米文学）

（兼任講師）

草野 英信（ロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ、国際物流Ⅰ・Ⅱ、貿易英語Ⅰ・Ⅱ他）

櫻井 聡（商学概論Ⅰ・Ⅱ）

野々山隆幸（経営情報概論ⅠⅡ、情報処理、情報セキュリティ）

金森 孝治（コンピュータ活用演習Ⅰ・Ⅱ）

（事務職員）

専任職員 金 紅梅（国際交流センター）

契約任期 鈴木 競（法人事務局・参与）

契約任期 中島 美樹（学生相談室カウンセラー）

昇任（平成23年4月1日付）

（教育職員）

教授 浮田 善文（経営資源論Ⅰ・Ⅱ、統計解析Ⅰ・Ⅱ、演習ⅠⅣ他）

（事務職員）

部長補佐

井樋 秀則（総務部）

次長 栗原 正勝（法人事務局）

次長 中村 昭則（法人事務局）

主任 一澤 江子（就職指導室）

主任 野口 幸子（図書館）

主任 異動（平成23年4月1日付）

総務部長（兼務） 遠藤 武司

地域産業研究所 主 任 安部 立

学務部 主 任 山崎 徹也

法人部 主 任 高崎 洋一

退職（平成23年3月31日付）

（教育職員） 権上 康男

（事務職員）

次長 小川すみ江（保健室）

嘱託職員 松野 俊之（総務部）

契約任期 （アルバイトとして平成23年4月1日付採用）
金子 亮（学生相談室カウンセラー）

ヨーロッパの大学と初めて交流協定が結ばれました

5年間の準備期間を経て、今回ドイツ、バイエルン州のケンプテン応用科学大学が商科大学の姉妹大学の一つに加わりました。ケンプテン大学（通称）は、本学と同じような規模と学部学科構成（経営学、観光学、情報学など）を持ち、歴史も本学と以て実学重視の新しい大学です。この大

学があるケンプテン市は、アルプスのふもと、ドイツ国内でも風光明媚で知られるアルゴイ地方の、ゲルマン民族到来以前のケルト文化を引き継ぐ小さな古都です。近距離に観光の名所「ノイシュバンシュタイン城」や美しい湖を抱え、登山、ハイキング、スキーや、水泳、ヨットなど夏冬のス

ポーツのメッカとして、また、ドイツ第二の都市で歴史文化都市のミュンヘンまで約2時間弱と、恵まれた地理的環境に位置しています。志ある学生、教職員の皆様、古さの重みを背景に新しい挑戦を続ける、商大にとっては新しい世界に挑戦してはどうでしょう。



このたびの東日本大震災において、同窓会員が被害に遭われたという報告が事務局にありました。被災された方々の情報等ありましたら、どんな情報でも結構です。是非、事務局までご連絡をお願いいたします。

同窓会事務局より

〈住所変更の方・ご意見・ご提案など何でもご連絡下さい〉
会社案内・宣伝やお店の紹介等、多くの情報をお寄せ下さい!!

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

TEL・FAX 045-583-9031 直通（月・火・木・金）

同窓会HPアドレス <http://www.shodai-ob.com/>

携帯サイト <http://hp.did.ne.jp/shodai-dousou/>

E-Mail : dousou@shodai.ac.jp

〈編集後記〉

東日本大震災で亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈り上げるとともに被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

春は、新たな生活が始まる季節です。日本という素晴らしい国、日本人という素晴らしい人々にとつてこれ以上悲惨な春はなかったかもしれません。

今、私達がどんな今日を過ごし、どんな明日を迎えようとしているのか、その真価が問われています。私達日本!!

今ありて未来の扉を開き、今ありて時代は連なり始めるのだと思います。今が始まり! 会報38号発行にあたり、皆様ご協力ありがとうございました。

― 紀 ―